

第3学年〇組 道徳科学習指導案

- 1 主題名 感謝 内容項目 [B 思いやり、感謝]
- 2 ねらい 復興に向けて多くの人々が一つになろうとする心の絆を感じ取り、困難から立ち直っていく心の変容について話し合う活動を通して、多くの人々の善意や支えにより日々の生活が成り立っていることに気づき、自分もそれにこたえていこうとする心情を育てる。

教材名 「刈・ウトウ・セクシヨ」 (出典 彩の国の道徳「心の絆」 埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

感謝の心は、他の人が自分のことを大切に思ってくれていることに触れ、相手の行為をありがたいと感じたときに生じる人間の自然な感情である。他者からの善意や支えに気が付き、これを受け止めて感謝する豊かな心の働きが人間関係を築く上で大切である。

指導に当たっては現在の自分の学校生活は、それを支えてくれている多くの人によって成り立っていることに気付かせていく。その上で、自分の心の中にわき上がってきた感謝の気持ちを素直に表現し伝えていくことで、潤いのある人間関係が築かれることに気付かせていきたい。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

小学校低学年で「家族など日頃世話になっている人々に感謝すること」、中学年で「家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること」、高学年で「日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること」を学んできている。中学校1学年では「淳子ちゃん、ありがとう」を教材として、信頼に支えられた友情やその尊さについて理解を深め、人は互いに助け合い、支え合って生きていることを自覚し、相手の気持ちや立場を尊重することについて学習した。また、「笑顔と涙の理由」を教材として、自分を支えてくれている周りの人の善意や思いやりに心を向け、感謝の気持ちをもって、それに応えようとする心情について学習した。2学年では「夜のくだもの屋」を教材として、人間は多くの人々の善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、感謝する態度について学習した。

本学級の生徒はお互いに協力して活動することができる。一方で、同性同士ではコミュニケーションが取れるものの、異性に対して素直に自分の気持ちを表現できない生徒もいる。自分の考えをもっていながらも、他の人の反応を気にして表現できないこともある。同様に、感謝の言葉を伝えることに照れを感じ素直に表現できない生徒もいる。また、日々の生活の中で自己を支えてくれている多くの人々の善意に気付いていなかったり、気付いていても感謝の気持ちを素直に伝えることの難しさを感じている生徒もいる。本教材を通して、自己を支えてくれている多くの人々の存在に気が付き、そのことに感謝し、それを相手に伝えていこうとする心情を育てたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は部長を務める「私」の所属する吹奏楽部に、震災によって避難してきた双葉中の5人の生徒を迎え入れ、部長としてのあり方や自分自身の力量、部を取り巻く環境など様々な悩みをもちながらも、多くの人々の支えもあって、それに対する感謝の気持ちをもって演奏し、すばらしい賞を獲得したという内容である。多くの人々の善意や支えによって現在の自分があることを知り、その善意や支えに対する感動や喜びが自然に感謝の心となって表れ、その感謝の気持ちを素直に表現し相手に伝えていくことの重要性に気付かせたい。そのため、以下の場面に基に話し合うことにする。

【困難から立ち直っていく「私」の心の変容をとらえる場面】

自分の演奏に自信をなくしたり、部長として悩んでいた「私」が、コンクールや演奏会に向けて少しずつ頑張ろうという気持ちに変わってきたのはなぜかを考えることを通して、多くの人々の善意や支えによって今の自分があることに気付かせたい。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 ねらいとする道徳的価値について考えを深める指導の工夫

- (1) 導入
 - ・メリー・ウィドウ・セレクションを聞いたり、写真を見ることで、題材の舞台についてイメージを膨らませる。
- (2) 展開
 - ・多様な意見が出やすいように発問を工夫する。
 - ・個人で考える時間、グループで共有する時間や話し合いを取り入れる。
 - ・感謝の気持ちをこめた言動の大切さを話し合う活動を通して、価値理解を深めさせる。
- (3) 終末
 - ・説話を聞いて感謝を伝えていくことの大切さを再確認し余韻をもたせる。

5 学習指導過程

段階	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 曲（メリー・ウィドウ・セレクション）を聴く。 （1分程度） 2 写真を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに聴く。 ・プロみたい。 ・演奏者が同じ中学生という事実で驚く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壮大な曲によってインパクトを与える。 ・どのような人が演奏しているのかを予想させる。 ・時間をかけずに紹介する。
展開	3 教材「メリー・ウィドウ・セレクション」を聞き、話し合う。 (1)双葉中から新たな仲間を迎えた「私」はどんな気持ちだったと思いますか。 (2)自分の演奏に自信をなくしたり、部長として悩んでいた「私」がコンクールや演奏会に向けて少しずつ頑張ろうという気持ちに変わってきたのはなぜだと思いますか。（中心発問） 【補助発問】 自分たちの演奏を聴いてくれた被災者や寄付してくれた人たちはどんなことを感じていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間が増えてうれしい。 ・演奏も上手くてすごい。 ・レベルの差を知って落ち込む。 ・うまくやっていけるか心配。 ・応援してくれる多くの人のためにも頑張りたい。 ・新しい仲間と一緒にさらに良い演奏をしたい。 ・津波で亡くなった方の分まで頑張りたい。 ・被災して苦しんでいる人に笑顔届けたい。 ・寄付してくれた人のためにも頑張りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者を受け入れる側の「私」の作文であることを確認し、範読する。 ・間髪入れずに問う。 ・誰かの意見を聞いたら、それに対してどう思うかをまた別の誰かに聞いていく。 ・プラス、マイナスの両方の感情が入り交じっていることを押さえる。 ☆「私」の心の変化の理由を様々な方面から考えている。（発表） ・1分間個人で考えた後に、班で意見を発表し合う。 ・出た意見に共通するキーワードや、共感できる意見を用紙にまとめ、黒板に貼る。 ・周りの支えがあって私の心が変わっていくことを押さえる。

	<p>(3)感謝の気持ちを込めた言葉や行動によって、他者とのような関係をつくれると思いますか。</p> <p>4 自己を見つめる。 これまであなたは、感謝の気持ちを込めて行動していましたか。そうでなかったとしたら、それはなぜだと思いますか。今日の授業を終えて考えたことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より信頼関係が深まる。 ・より絆が深まる。 ・よりよい人間関係になる。 <p>・今まで、たとえ感謝をしても、羞恥心が邪魔をして、感謝の気持ちを相手に充分伝えられていなかったと思うので、これからはタイミングを逃すことなく感謝の気持ちを言葉や行動に表していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少し周りと相談させる。 ・支えてもらうだけではなくその恩を感謝の気持ちを込めて返していくことで、絆が深まることを押さえる。 <p>☆自分との関わりで、身近な生活の中から感謝したい人や出来事を思い起こし、その気持ちに伝えることの重要性を考えている。(ワークシート)</p>
終末	5 教師の説話を聞く。		・余韻をもたせる。
	<p>自分は合唱団に所属していて、合唱団としてコンクールに出て賞をいただくことがある。決して自分一人で賞をもらうことはできないし、一緒に歌ってくれる仲間がいてこそである。また、自分たちの演奏の場を用意してくれた主催者や、その演奏を聴いてくれる聴衆がいるからこそ成り立つもの。いい演奏者、いい聴衆がそろって始めて芸術は生まれる。だから自分たちが演奏するときは精一杯感動を届けたいと思って歌うし、他の団体の演奏を聴くときは、その思いをくみ取ろうと一生懸命演奏を聴き、演奏後には大きな拍手で相手を讃える。それがお互いにできたとき、別々の団体同士の間にも信頼関係や、絆が生まれてくるのかなと思う。</p>		

6 他の教育活動等との関連

事前指導	離任された先生方への手紙を書いた。
道徳科	3年生の教材「塩むすび」(B 思いやり、感謝)
特別活動との連携	卒業式に感謝の気持ちをもって臨む。
事後指導	家族などの身近な人への感謝の手紙を書く。
家庭との連携	学級通信を通して、授業内容と生徒の感想を発信する。

7 評価

(1) 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公の心の変化を様々な方面から考えようとしている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・善意や支えに対する感謝の気持ちを素直に表現することについて、自分との関わりで考えを深めている。

(2) 評価の観点

【教師の指導方法に関する工夫】

- ・授業を通して、感謝の気持ちをもつだけでなく、それを相手に伝えることがよりよい人間関係を築いていくことに繋がる感じがられるような発問構成であったか。
- ・グループで話し合うことを通して、価値理解を深められたか。

8 板書計画

テーマ…感謝

メリー・ウイドウ・セレクション

双葉中から新たな仲間を迎えた「私」の気持ち

- ・仲間が増えてうれしい。
- ・レベルの差を知って落ち込む
- ・うまくやっていけるか不安

不安や悩みを抱えていた「私」がコンクールや演奏会に向けて少しずつ頑張ろうという気持ちに変わってきたのはなぜだろうか

各	プ
グ	の
ル	意
ー	見

感謝の気持ちを込めた言動

←

より深い絆へ